

# 防音ドア SFタイプ

## [G45] / [G40] (品番末尾“-S”)

## 溶接施工編

### 施工業者様へ

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。  
<https://www.daiken.jp/pro/download/manual/>





本製品は高い遮音性能を有する防音ドアです。施工精度によっては本来の性能を発揮しない場合がありますので、水平・垂直には十分に注意して施工してください。

## もくじ

### 施工説明書

1. 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 全体図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 施工方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～7
5. 施工例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～11

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる ,  マークや お願い は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律にしたがって適切に処理してください。
- 本製品はパッキンがあるので一般的なドアと比べて閉鎖時に多少抵抗があります。ご了承ください。

### 取扱説明書

1. 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 溶接機
- コンベックス等測定機器
- 水準器
- 下げ振り
- ハンマー
- 手回しドライバー

# 7. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長期間安全に使えるよう施工していただくために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

## 警告表示の種類と内容

	<b>警告</b>	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

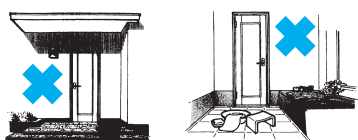
	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
--	-------------	--	----------------	--	-----------------------------

## 施工上のご注意

### 注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工に使用する部品は「現場手配」と明記の無いもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用する</li> <li>・ 枠の躯体への固定を確実にこなう</li> <li>・ 施工は本説明書にしたがって確実にこなう</li> <li>・ <b>本ドアは遮音性能を発現させるため、気密性を高めており、シックハウス対策に基づく24時間換気の換気経路になりません。別途換気経路を設けてください。</b></li> </ul>
--	---

このドアは室内用ドアです。屋外や水かかりの恐れがある場所（浴室等）への使用はおやめください。

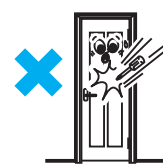


工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

施工するまで保管するときは、湿気が高い場所や直射日光が当たる場所を避けてください。扉は水平な場所に平積みして保管してください。

本説明書は当社カタログに掲載の標準品に準じた寸法を表示しております。特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。

扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。傷をつけるおそれがあります。



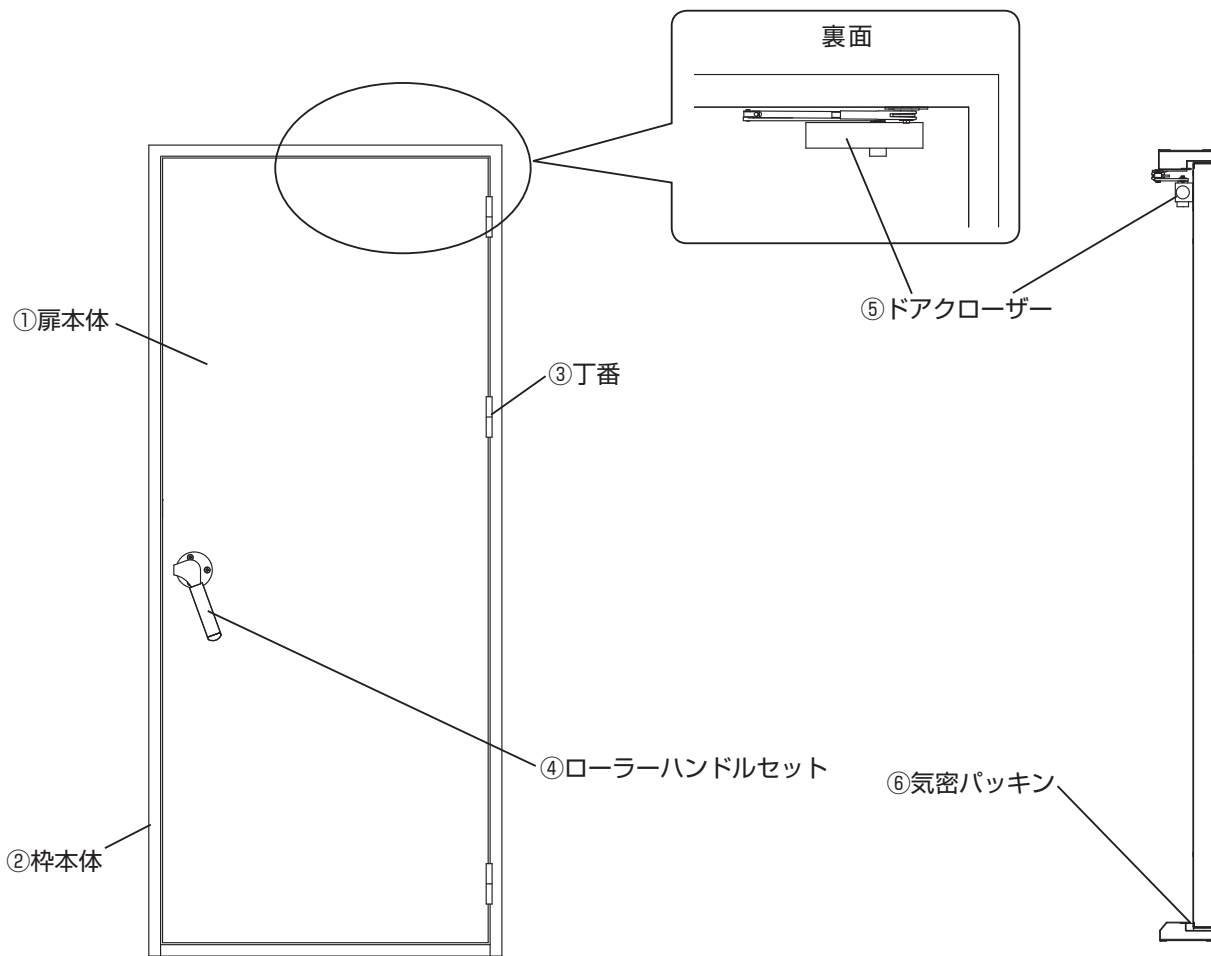
枠の水平・垂直等建付を確認してから取り付けてください。防音性能の劣化や開閉不具合の原因となります。ドアと戸当りのパッキンとの間に隙間が生じる場合は、再度枠の建付を確認して正しく施工してください。



ストーブ等の熱源を近づけたり、直接熱風をあてないでください。ドアや金物の形状変化による性能低下や開閉不具合の原因になる場合があります。

本製品は特殊な防音ドアですので、レバー操作・開閉力・重量等が一般的なドアとは異なります。施工説明書および取扱説明書をよく読んで正しく取り扱ってください。

## 2. 全体図



## 3. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください。)

No.	部品名称	数量	備考	
①	扉本体	1 体		
②	枠本体	1 体		
③	丁番	3 セット	扉本体および枠本体に取付済み	
④	ローラーハンドルセット	1 セット	部品箱に 同梱	
⑤	ドアクローザー	1 セット		施工説明書同梱
⑥	気密パッキン	1 セット		施工説明書同梱
⑦	施工・取扱説明書 (本書)	1 冊		[G45]: 縦用 4 本、横用 4 本 [G40]: 縦用 2 本、横用 2 本
⑧	指つめ注意ステッカー	1 部		

# 4. 施工方法

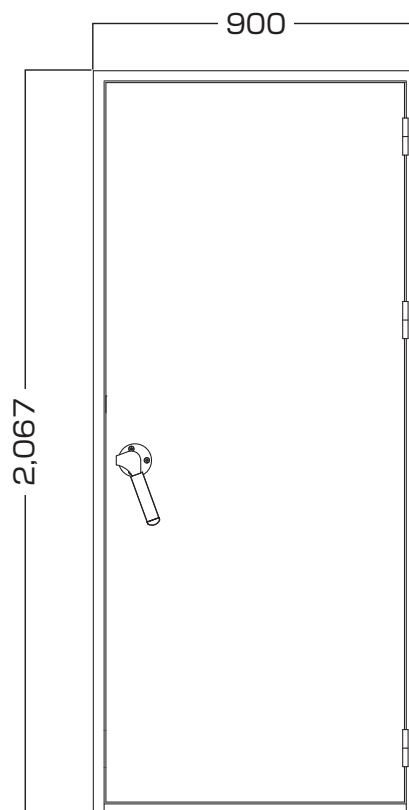
## 1. 施工準備

- 開口部の寸法は枠外寸法+溶接可能間隔（目安：30mm）の寸法で開けてください。  
下地躯体に十分な強度を取った上で施工ください。開口部（特に下枠）は歪み、沈みがないようにご注意ください。

### ○標準品寸法一覧

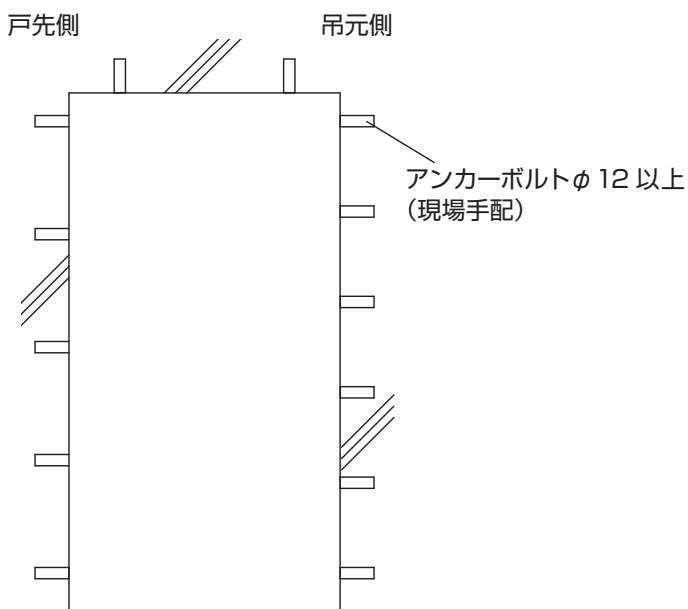
	[G45]	[G40]
枠外幅 (W)	900	900
枠外高 (H)	2,067	2,067
扉本体 (W)	830	830
扉本体 (H)	2,000	2,000
枠見込 (D)	146	146
扉本体厚	58.8	53.2
扉重量 (kg)	110	70
枠重量 (kg)	35	30

単位：mm



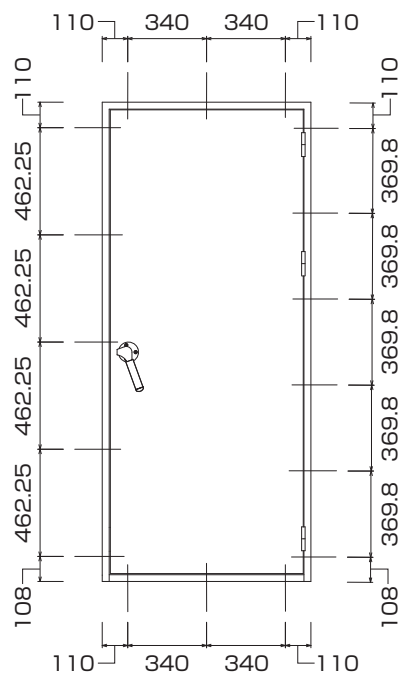
- RC下地に施工をする場合、あらかじめ開口部にアンカーボルトが埋め込まれていなければ、枠のアンカー位置（下図）を参考に12mmφ以上の溶接用アンカー（現場手配）を打ち込んでください。

### 【アンカー施工イメージ図】



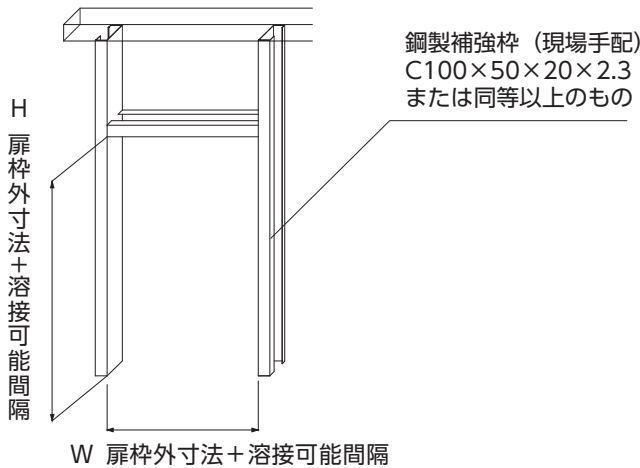
### 【枠のアンカー位置】

単位：mm



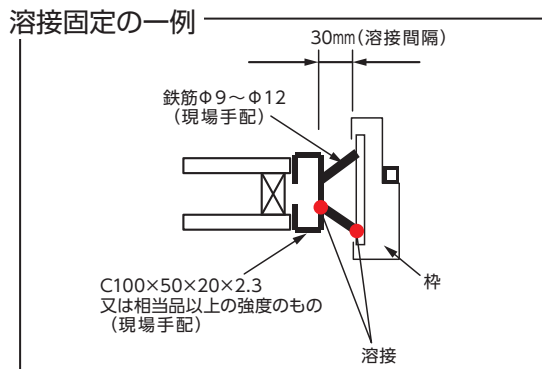
# 1 施工準備 (つづき)

- 鉄骨下地の場合や RC に鋼製補強枠 (現場手配) を取り付ける場合は、C 100 × 50 × 20 × 2.3 または同等以上の強度のものを使用ください。



# 2 ドアの取付

- ①下図を参考にドア枠と躯体を溶接にて固定ください。扉を吊り込んだ際に枠にゆがみが発生することのないように、十分な強度を確保してください。  
(原則として縦枠および上枠のすべてのアンカー位置で溶接固定してください。状況に応じて下枠側も溶接固定してください。)

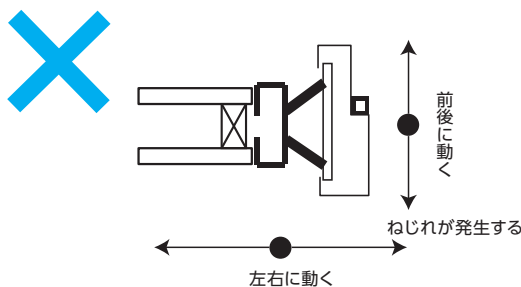


## お願い

枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。扉が閉まらない原因となります。



- ❗ 溶接後に枠が動かないことを十分ご確認ください (下図参照)。枠が動くと扉・丁番・ドアクローザー等の止めビスの緩み等の原因になる場合があります。



- ②扉を 90° 以上開いた状態で丁番に差し込み取り付けてください。

- ❗ 丁番に差し込む時は必ずゆっくりと差し込んでください。急激に落として差し込むと丁番や枠が破損する恐れがあります。

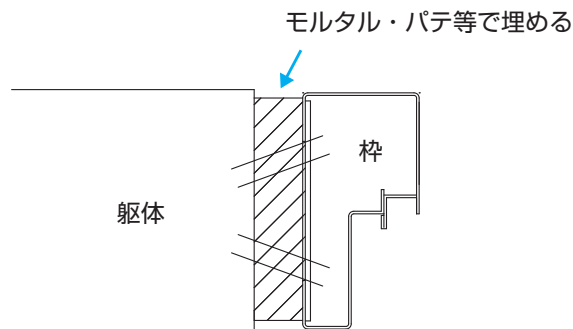
- ❗ 扉本体重量が重いので必ず3名以上で作業してください。



扉吊り込み後の丁番の様子

## 2 ドアの取付 (つづき)

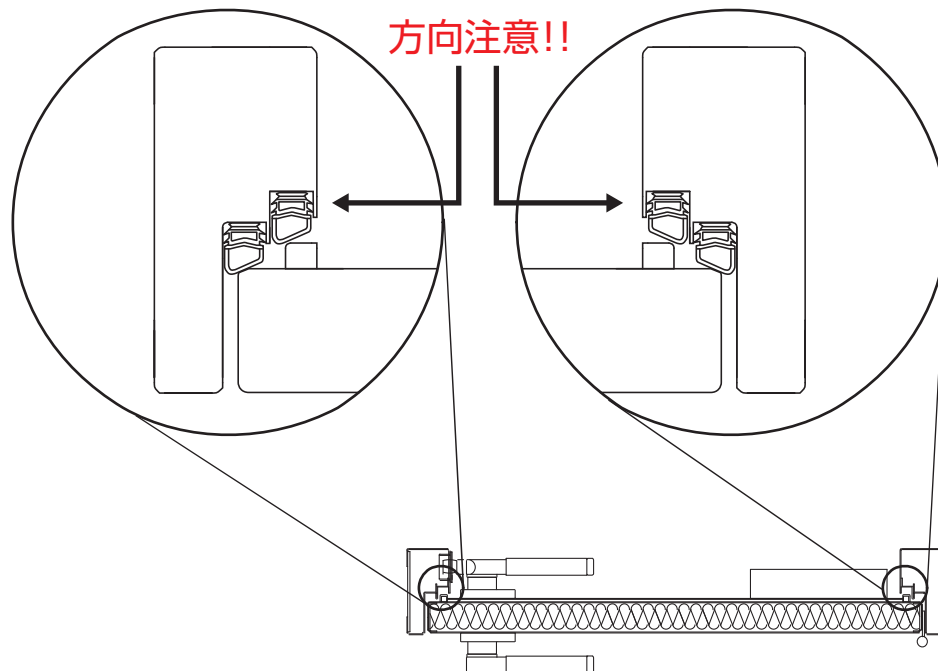
- ③ 枠と躯体 (RC、鉄骨下地) 等の間隙をモルタル (現場調達) や市販のパテ (現場調達) 等で埋めてください。  
下枠を床面に直に置いて施工する場合、床面と下枠の間はコーキング (シリコン系コーキングや変性シリコン系コーキング等 : 現場手配) で埋めてください。



枠と躯体の隙間の処理は確実に行ってください。  
枠と躯体の間に隙間があると遮音性能が低下する原因になります。

## 3 パッキンの取付

枠の4周にあるパッキン用の溝に下図の向きでパッキンを押し込んで取り付けてください。  
パッキンは縦勝ち、横勝ちのどちらでも施工できます。縦勝ちの場合は縦枠側、横勝ちの場合は上下枠側から取り付けてください。  
パッキンは長めのサイズで同梱しております。現場の寸法に合わせてカットして使用ください。  
なお、パッキンの取付に接着剤等は必要ありません。



※図は [G45] (2重パッキン) の縦枠パッキンの場合です。上下枠も同様に取り付けてください。  
また、[G40] (1重パッキン) の場合もパッキンの向きは同様です。

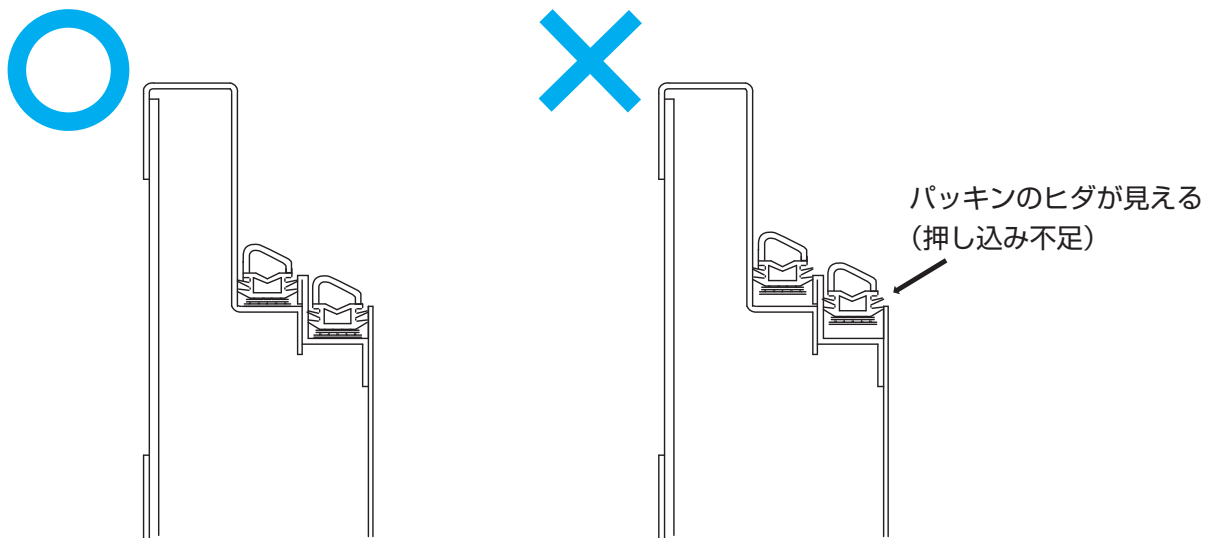


パッキンの裏表や方向を間違えると音漏れや開閉不具合の原因となりますのでご注意ください。

### 3 パッキンの取付 (つづき)

❗ パッキンをカットする際に両端に隙間ができないようにご注意ください。  
隙間ができると音漏れの原因となります。

❗ パッキンは側面のヒダが見えなくなるまでしっかり押し込んでください。  
押し込み方が足りないと音漏れや開閉不具合の原因となります。



❗ パッキンは端部が重ならないようにきっちりはめこんでください。(下図参照)  
パッキンが重なっているとドアを閉めた時に隙間ができ、開閉不具合および音漏れの原因になります。



## 4 ローラーハンドルおよび受け金具の取付

ローラーハンドルに同梱の施工説明書の内容に準じてハンドルと受け金具を取り付けてください。  
(扉と枠は切り欠き加工済みです)

## 5 ドアクローザーの取付

ドアクローザーに同梱の施工説明書の内容に準じてドアクローザーを取り付けてください。  
(扉と枠はネジ孔加工済みですので、型紙は使用しません)



ドア閉鎖時の危害防止のため、ドアを 90° 開いた状態からドアが閉鎖するまで 3 秒以上となるようにドアクローザーの閉鎖速度を調整してください。

## 6 ドアの仕上げ施工について

本製品の出荷時の塗装は下塗りの錆止め塗装になります。一般的なスチールドア同様に現場にて仕上げの塗装工事や化粧シート仕上げを行ってください。

仕上げ工事の際に付属の丁番や金物を取り外した場合は、復旧時に必ずプラスドライバー等でしっかり締めこんでください。その際、市販のネジ緩み止め剤等を施すことをお勧めします。



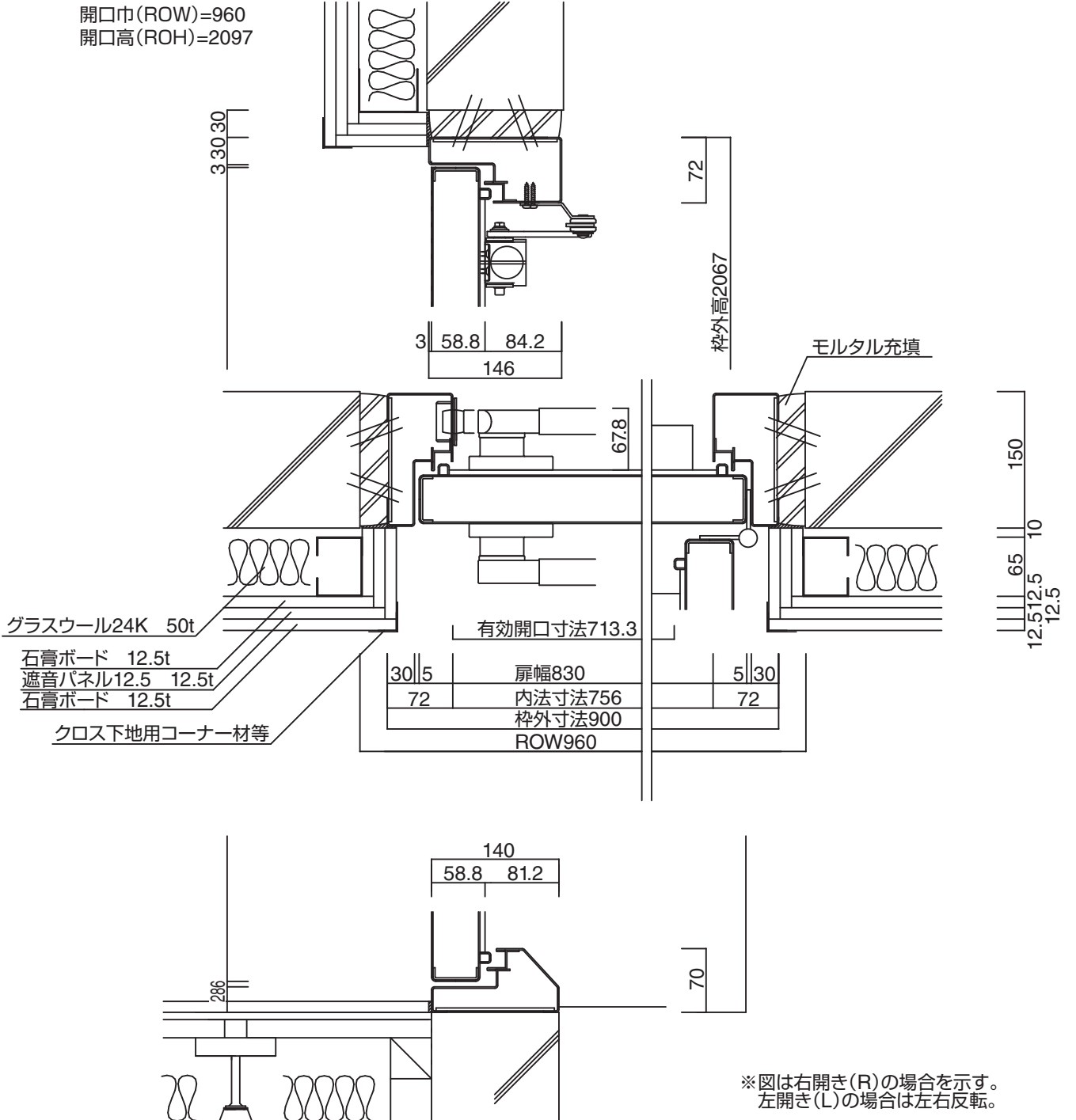
ネジがゆるんだまま使用されるとドアの開閉不具合や遮音性能低下の要因になります。  
ご注意ください。

## 7 指つめ注意ステッカーについて

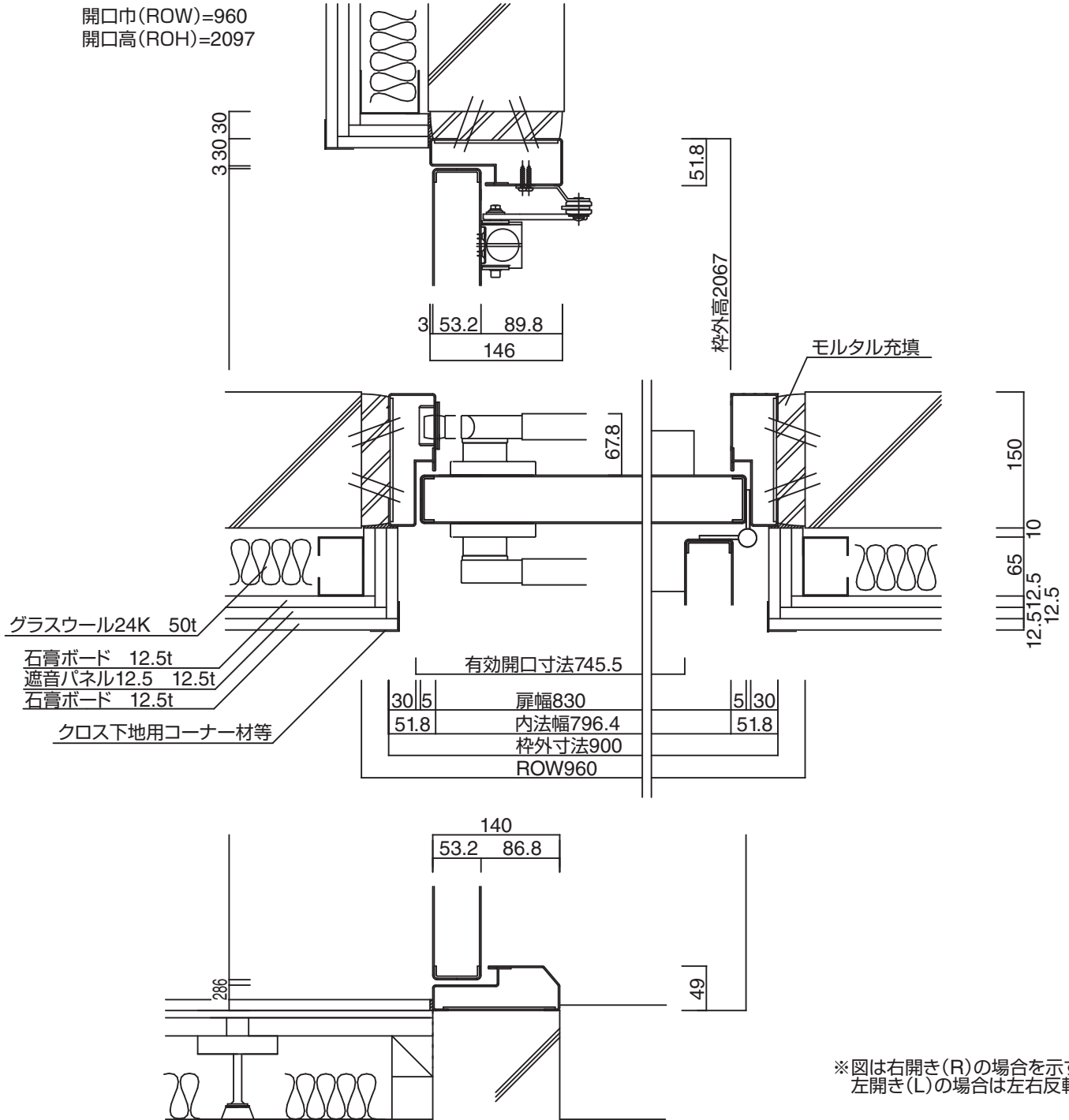
本製品には「指つめ注意ステッカー」を同梱しております。  
必要に応じて扉開放時に見える位置（扉の丁番側木口など）に貼ってご使用ください。

# 5. 施工例

○防音ドア SFタイプ [G45] の場合 (RC)

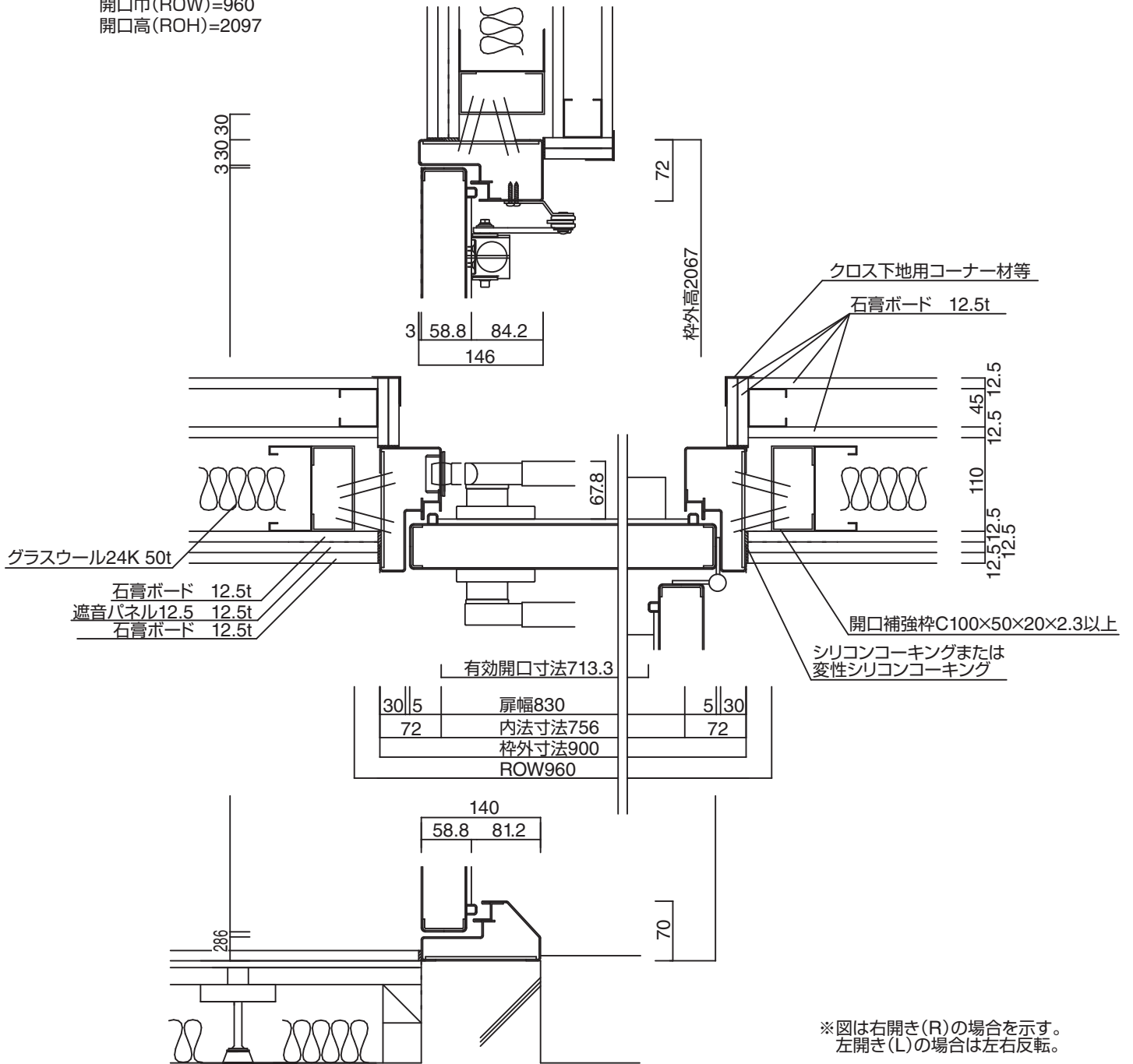


○防音ドア S Fタイプ [G40] の場合 (RC)

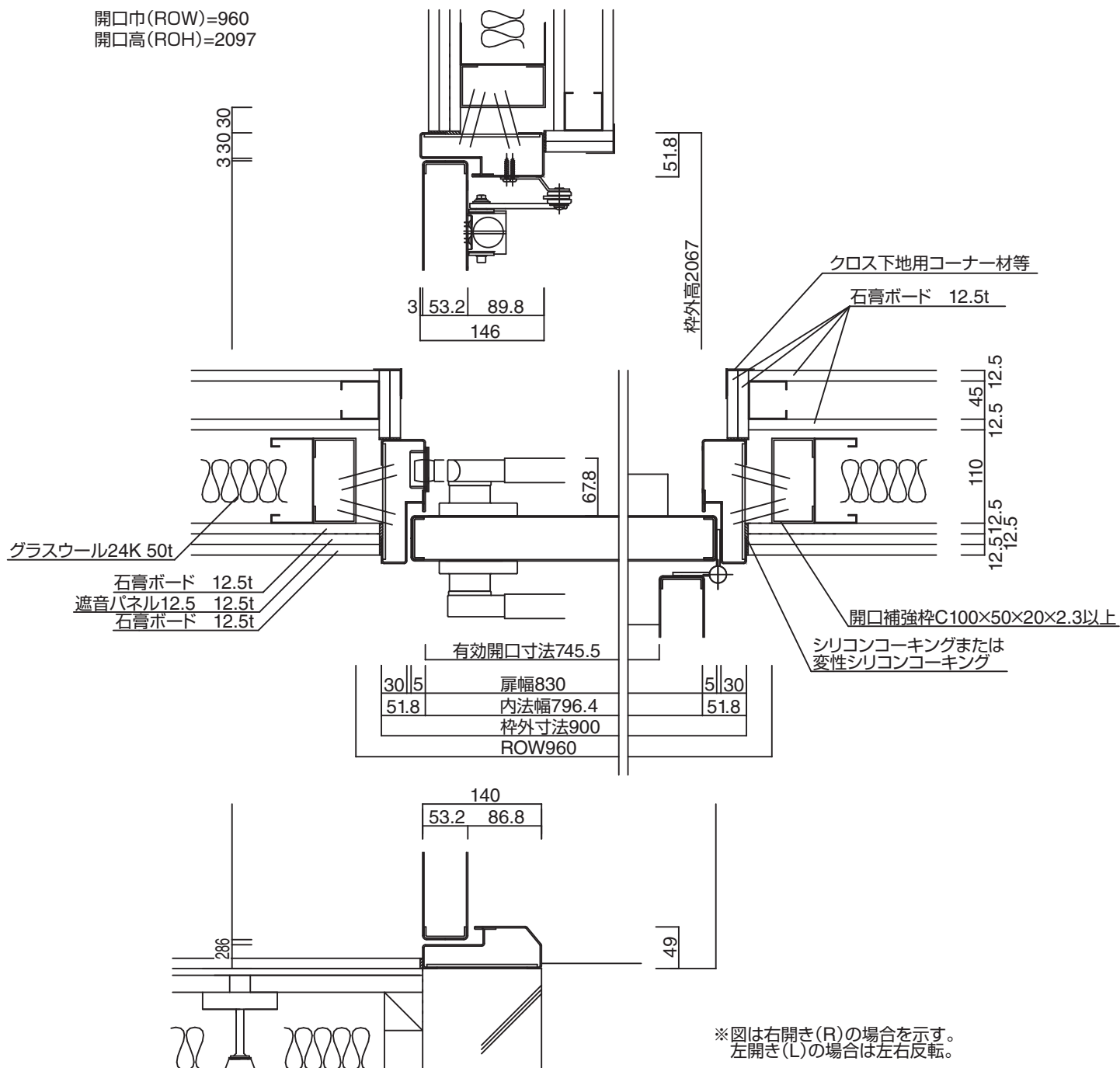


○防音ドア SFタイプ [G45] の場合 (軽鉄)

開口巾(ROW)=960  
開口高(ROH)=2097




○防音ドア S Fタイプ [G40] の場合 (軽鉄)






# 7. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)






この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

## 警告表示の種類と内容

	<b>警告</b>	取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
---	-----------	------------------------------------

	<b>注意</b>	取扱を誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合
---	-----------	---

 <b>警告</b>		
	ドア本体や付属金物(ハンドルやドアクローザー等)にぶら下がったり、無理な荷重をかけないでください。ドアや金物の破損、落下による事故につながる恐れがあります。	

 <b>注意</b>		
	ドアの開閉は正しく静かに行ない、ドアに指をはさまないように注意してください。	
	ガラス入りのドアはガラスに強い衝撃を与えないでください。	
	ストーブ等の熱源に近づけたり、直接熱風をあてないでください。ドアや金物の形状変化による性能低下、ドア仕上(塗装やシート仕上等)の劣化につながる場合がございます。	
	ハンドル取手を下げた状態のままドアを閉めると、先端のローラーにより枠やハンドル受け金具を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。	

**お願い** 重量のあるドアですので通常閉めて使用してください。

## ■定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化(経年劣化)を生じ安全上支障がでるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による下記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象	対策
本体 丁番	丁番の止めつけネジに緩みがある。 扉の開閉がしにくい。(扉が枠にあたる)	有・無	丁番の変形や破損 扉のガタツキや脱落	丁番の止めつけネジを締めなおしてください。
ローラー ハンドル	ハンドルにガタツキがある。	有・無	部品が破損してドアが開閉できない(閉じ込め)	ハンドルの止めつけネジを締めなおしてください。
ローラー ハンドル受け	受けががたつく	有・無	部品が破損して、ドアが開閉できない(閉じ込め)	受けの止めつけネジを締めなおしてください。

※上記対策を実施しても症状が改善されない場合は直ちにご使用を中止し、施工業者様へ連絡してください。

## DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

### ■対象商品

防音ドア SFタイプ[G45] / 防音ドア SFタイプ[G40]

### ■保証事項

通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、弊社の責任に起因する製品不具合(保証期間参照)を無料で修理します。ただし遮音性能は保証の対象外とします。遮音性能は一定の条件下で測定された数値であり、施工現場における性能を保証するものではありません。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。  
※修理とは、壊れたり痛んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。(原則、新品交換は含みません)

### ■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。(保証期間一覧表参照)  
保証期間経過後の修理については有料となります。

#### 保証期間一覧表

保証事項	保証対象となる不具合現象		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期	期間
使用上の著しい支障が生じないこと	扉枠	作動不良(故障)	引渡後	1年

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容、又は本来の使用目的・使用用途と異なる用途に使用した事に起因する不具合
- ③天災・自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する不具合
- ④著しい環境の変化(激しい温湿度差・寒暖差・激しい気圧の変化等)の生じる場所に設置した事による不具合
- ⑤商品周辺の自然環境・住環境などに起因する腐食又はその他の不具合(例:塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、オゾンガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。)
- ⑥弊社製品以外の居室の構成部材(床・壁・天井)や建物自体の変形、入居後における増改築や改修に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者(工事関係者やお客様自身を含む)の不適切な施工、取付、修理、改造に起因する不具合
- ⑧入居者又は第三者(工事関係者やお客様自身を含む)の取扱説明書から逸脱した使用や調整不備、又は、適切な維持管理を行わなかった事に起因する不具合
- ⑨用途以外に使用された場合の不具合(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合)
- ⑩犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合
- ⑪付属金物のキズなどの不具合で引き渡し時に申し出がなかった場合
- ⑫経年変化による通常一般的な当該保証商品の変色・汚れ・さび・かび・劣化摩耗などの不具合
- ⑬塗装工事や化粧シート仕上げなど、弊社製品の納品後の仕上げ工事に起因する不具合
- ⑭製品施工後、速やかに仕上げ工事をせずに製品を使用した事に起因する汚れ・さび・かび・劣化摩耗などの不具合
- ⑮納品後の輸送、据え付け場所の移動による不具合
- ⑯複製した製品に起因する金物の不具合(複製した鍵に起因する金物本体の不具合)
- ⑰製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
- ⑱その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
- ⑲離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑳保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合

※1:周辺環境等:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

## ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



ユーザー登録いただいた方には次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引  
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ取扱製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

## 部品交換・メンテナンス用品のご購入は

DAIKEN パーツショップ

DAIKEN パーツショップ



<https://service.daiken.jp/qr/service/>



本製品に関するお問い合わせ、および防音・音響仕様(楽器練習室・ホームシアターなど)のお問い合わせはサウンドセンター

東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245  
受付時間:平日10:00~17:00(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇はお休みとなります。)

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス  
<https://www.daiken.jp/>

ご相談窓口における個人情報の取り扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシー) 高、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。